

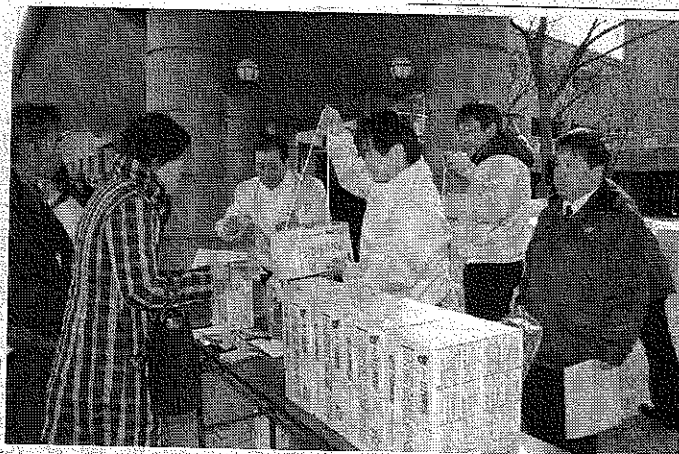
平成24年(2012年)12月11日 火曜日 (6)

# 非常食300箱を配布

## 川越町 水やアルファ米入り

【三重郡】県と四日市市の一般社団法人日本非常食推進機構は九日、川越町豊田二色のあいあいホールで、災害用非常食の入った「白い小箱」三百箱を町民へ無料配布した。十三日午前十時からは四日市市安島の商業複合施設「ラフスクエア」でも三百箱配布する。

白い小箱には一日分の水やアルファ化米などが入っている。玄関先で保管し、



「白い小箱」を受け取る人たち  
川越町豊田二色のあいあいホール

緊急災害時に持って避難してもらおう。同町主婦(五巴)は「自分ではそろえられないものもあるので助かる」と受け取っていた。

同機構は八月に県と災害時非常食に関する協定を締結しており、十一月から年

度内に県内二十九市町を巡回して「白い小箱」を配布するキャラバンを開始した。県防災対策部は「非常食の備蓄の必要性を知ってもらい、防災意識を高めてもらいたい」と話していた。

十三日はラフスクエア四階で引換券を渡し、施設前市民公園で配る。地震体験車も来場する。